

# 緩和ケアチームこの一年

薬剤部 金澤 恵子 外科系診療部長 西山 徹

平成17年3月にチームが発足し約3年が過ぎようとしています。会議の回数も昨年末で101回を数えメンバーも20人となり、少しずつ軌道に乗りにかけた感じです。全員が兼務のため通常の業務との両立は大変な面もありますが、チームスタッフの皆様の協力を感謝します。

現在のチームの位置付けとしては患者さんと病棟スタッフの橋渡しの立場であり、それまでに築き上げてきた病棟と患者さんの信頼関係を第一に尊重しながらのケアを心がけています。あくまでも病棟へのコンサルテーション活動がメインになりますが、スムーズに活動するためには病棟スタッフの協力が不可欠であり、協力して下さっている皆様に感謝します。

## 症例患者数

介入自体は平成17年の7月からスタートしていますが、平成19年は9例の患者さんと関わらせていただきました。最長のかたで約7ヶ月、一番短かった例ですと2日間という方もいて、今後は早目に介入したいと思っています。

男女比は、男性5名、女性4。診療科別では、外科4名、消化器内科3名、循環器内科1名、産婦人科1名です。

## 緩和ケアニュースの発行

第2号から5号までの4部を発行し、今後も情報等を含め年に3回の発行を予定しています。

## 勉強会の開催

昨年5月23日に院内第4回目の勉強会を開催し、50名の参加がありました。新たな内容の検討も必要ですが、春には新スタッフも入りますので、その方達を対象としたものなども必要と考えています。院外の医療者を対象とした講演会も企画し、11月28日には旭川医大の阿部先生をお迎えしご講演いただきました。

## 発表活動

道北臨床薬学研究会においてチームについて発表の依頼があり、11月に薬剤部の町田技師が発表しました。上川管内において薬剤師間では当院でチームが活動していることが、浸透しつつあります。

11月の上川北部緩和ケアを考える会では、医療支援相談室の谷津課長が発表しました。

## 外来との連携

外来移行後も外来看護師のメンバーにケアをお願いしています。外来においても継続看護の取組みがなされていますので、そちらとも今後連携をしていきたいと思っています。

12月に堀井看護師が緩和ケア認定看護師の研修を終えてきました。病院の長期計画の中にも緩和ケアの充実が盛り込まれ、少しずつではありますが、さらにチームを充実させていきたいと思っています。